



2020年3月期第3四半期決算説明資料



2020年1月29日
メタウォーター株式会社

<セグメント情報>

- プラントエンジニアリング事業(略語:PE事業):国内EPC事業、海外事業
当セグメントでは、浄水場内の浄水プロセス、下水処理場内の下水処理プロセス、汚泥処理プロセス、燃料化プロセスに使用する機械設備の設計・建設と、それらを運転、監視、制御するための電気設備の設計・建設を核とした各種エンジニアリングを主たる業務としています。
- サービスソリューション事業(略語:SS事業):国内O&M事業、国内PPP事業
当セグメントでは、浄水場、下水処理場、ごみ処理施設・リサイクル施設向けの機械設備や電気設備の補修工事、運転・維持管理(保守・点検)、運営などの各種サービスを主たる業務としています。

<語句説明>

EPC	Engineering, Procurement and Construction:設計・建設
O&M	Operation and Maintenance:運転・維持管理
PPP	Public-Private Partnership(公民連携):公共サービスの提供に民間が参画する手法
PFI	Private Finance Initiative:公共施設の設計・建設、運転・維持管理、運営、資金調達に民間を活用する公共事業の手法
DBO	Design, Build and Operate:公共施設などの設計・建設、運転・維持管理に民間を活用する公共事業の手法
コンセッション	公共施設の所有権と事業経営の認可を公的機関に残したまま、民間企業に事業運営権を長期間にわたって付与する手法

I 2020年3月期第3四半期決算ハイライト

II 自己株式の公開買付け結果
および2020年3月期配当予想の修正

III 2020年3月期第3四半期決算概要

I 2020年3月期第3四半期決算ハイライト

II 自己株式の公開買付け結果 および2020年3月期配当予想の修正

III 2020年3月期第3四半期決算概要

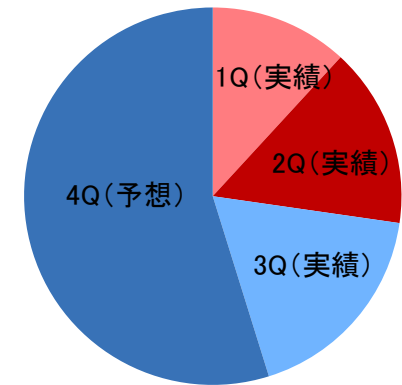
'20/3期3Q 決算ハイライト(連結)

* 受注高

当3Q累計の受注高は、前期実績を上回る。

(参考)受注残高：'19/3期3Q末 1,806億円 ⇒ '20/3期3Q末 1,886億円

'20/3期四半期別売上構成



* 売上高・利益

当3Q累計の売上高・利益は、PE事業(EPC、海外)、SS事業(O&M、PPP)ともに好調に推移し**増収増益**。

(億円)

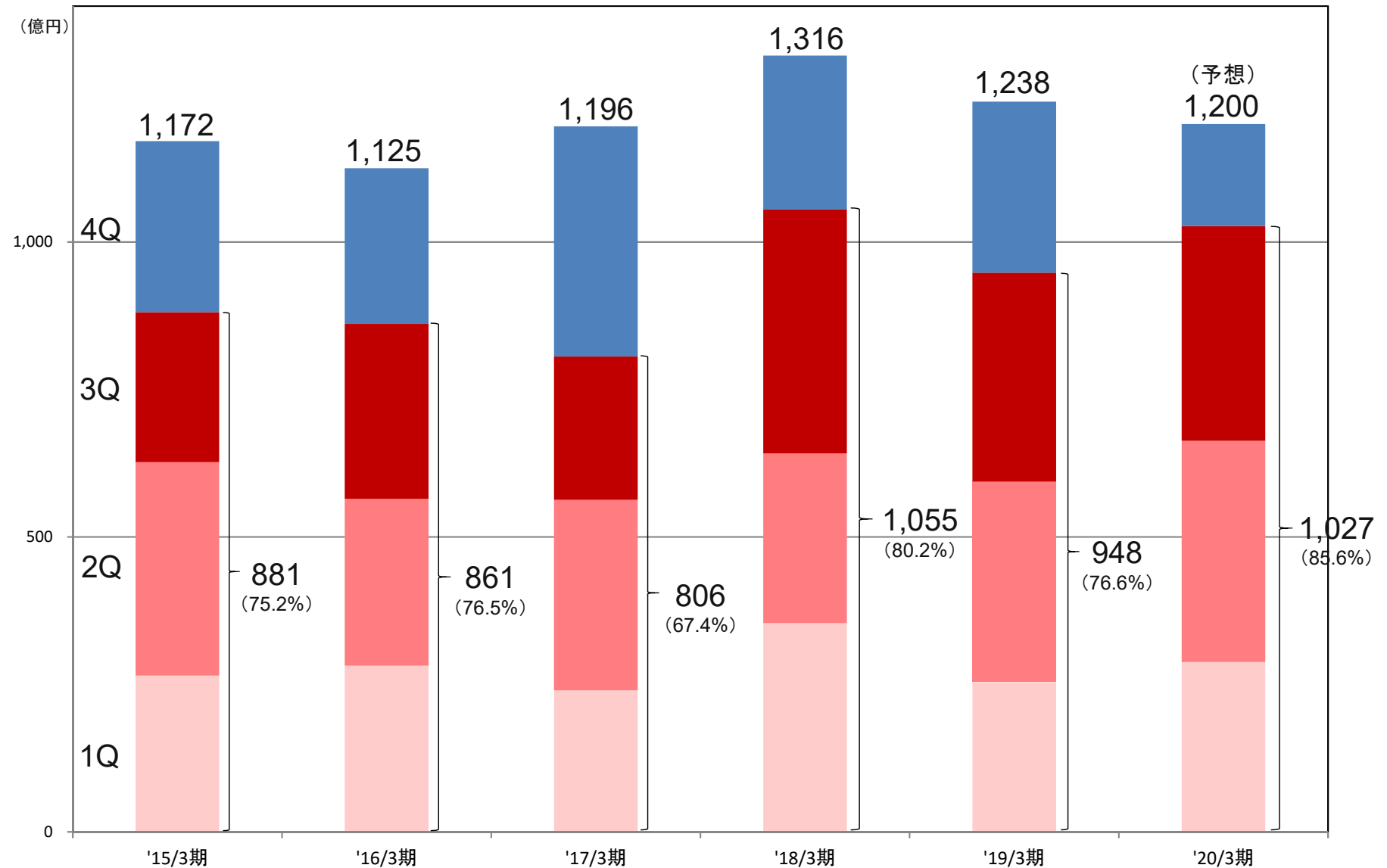
	受注高	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益*	第2四半期末 配当(円)
'20/3期 3Q累計実績	1,027	565	-35	-35	-26	31 (実施済み)
	前期比:+79 +8.3%	前期比:+64 +12.7%	前期比:+4	前期比:+2	前期比:+1	前期比:±0
'19/3期 3Q累計実績	948	501	-39	-37	-26	31 (実施済み)

(注)1億円未満を四捨五入(以降の実績値も同様)

* 親会社株主に帰属する四半期純利益

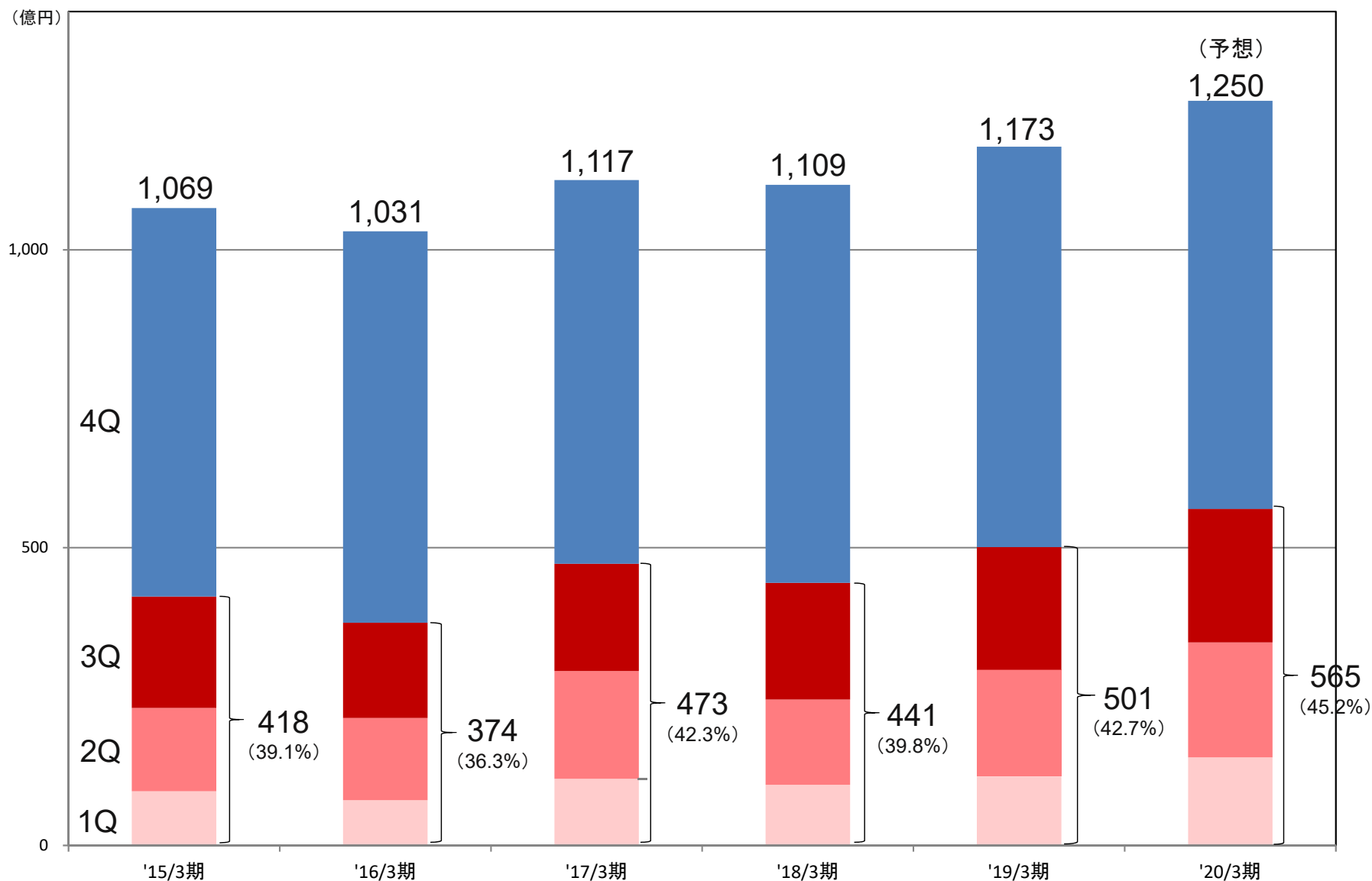
'20/3期3Q 受注高推移

例年3Q累計の受注高は年間の70~80%。当3Q累計は例年の水準を若干上回る。



'20/3期3Q 売上高推移

当社の事業は、国内公共事業が大半で、売上・利益が4Qに著しく偏る傾向があり、例年3Q累計の売上高は年間の40%前後。当3Q累計の売上高も例年並みの水準。



事業・財務の取り組み

- * 自己株式の公開買付けを実施(10~12月)
- * 「函館水道展」に出展し、最新のソリューションや公民連携事例などを紹介(11月)
- * 一般社団法人 日本IR協議会「IR優良企業奨励賞」を受賞(11月)
- * 「野村IR資産運用フェア2019」に出展し、個人投資家向けIRを実施(12月)
- * 「気候変動・災害対策Biz 2019」のカンファレンスに参加し、セラミック膜の二次利用の可能性(P9~10参照)を紹介(12月)



※受注実績については、巻末「補足資料 案件リスト」を参照

(参考) セラミック膜 二次利用の可能性

「社会インフラを移動可能にする」という考え。

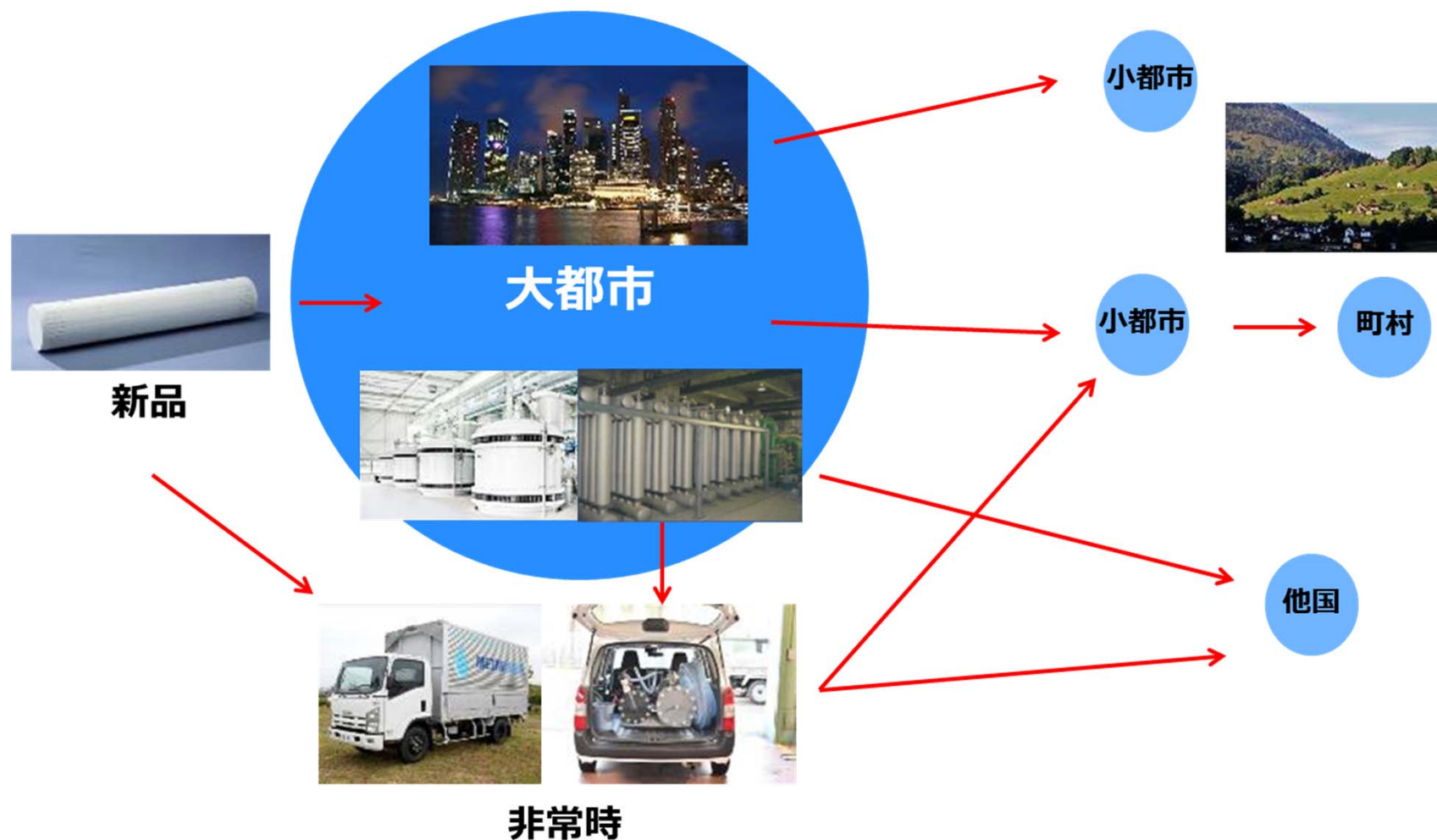
日本で役目を終えた列車が、他国で役目を果たしている。



撮影場所：ミャンマー連邦共和国

(参考) セラミック膜 二次利用の可能性

セラミック膜も、「列車」のように二次利用できないか？



ESGの取り組み

- * 「復興！第39回大船渡市産業まつり」に特別目的会社として出展(10月)
- * 「ひより保育園」(霧島市)、「そらのまちほいくえん」(鹿児島市)で出前授業を実施(11月)
- * 「第7回 都城高専おもしろ科学フェスティバル」に協力、出展(11月)
- * エコプロ2019 において「水をめぐる大冒険実行委員会」に協賛(12月)
- * 働き方改革の取り組み(週休3日制、サテライトオフィス設置など)が、東京労働局HP、厚生労働省「働き方・休み方改善ポータルサイト」で紹介(12月)

【東京労働局HP】

https://jsite.mhlw.go.jp/tokyo-roudoukyoku/news_topics/kyoku_oshirase/_120743/150122/_122278/h310118houmon.html

【厚生労働省 働き方・休み方改善ポータルサイト】

<https://work-holiday.mhlw.go.jp/detail/04357.html>



目次

I 2020年3月期第3四半期決算ハイライト

II 自己株式の公開買付け結果
および2020年3月期配当予想の修正

III 2020年3月期第3四半期決算概要

自己株式の公開買付け(自己株式TOB)の結果について

	公開買付け結果の概要									
買付け等の期間	2019年10月30日(水)~2019年11月27日(水)									
買付け数	<p><u>420万株(発行済株式の16.2%)</u></p> <p>日本碍子株式会社 200万株(保有数750万株 議決権比率28.94%) 富士電機株式会社 220万株(保有数750万株 議決権比率28.94%) 計57.88%</p> <p>(参考) 公開買付け後2社の保有数・議決権比率</p> <table border="1"><tr><td>日本碍子株式会社</td><td>保有数550万株</td><td>議決権比率25.33%</td></tr><tr><td>富士電機株式会社</td><td>保有数530万株</td><td>議決権比率24.40%</td></tr><tr><td></td><td></td><td>計49.73%</td></tr></table> <p>※主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動日:2019年12月19日(木)</p>	日本碍子株式会社	保有数550万株	議決権比率25.33%	富士電機株式会社	保有数530万株	議決権比率24.40%			計49.73%
日本碍子株式会社	保有数550万株	議決権比率25.33%								
富士電機株式会社	保有数530万株	議決権比率24.40%								
		計49.73%								
買付け価格	3,402円 (決議日2019年10月29日の前日までの1ヶ月平均株価3,698円に対し8%のディスカウントした金額)									
取得価額の総額	142.9億円(全額自己資金充当)									

'20/3期配当予想の修正

* 受注高、売上高、利益は、前回(10月29日付)予想に沿って推移する見通し。

→ 通期業績予想は変更なし。

* 当社グループは、安定成長と経営環境の変化に必要な内部留保資金を確保しつつ、経営状況に応じた株主への利益還元を継続して行うことを基本方針としている。

配当については、「公開買付けによる自己株式の取得」の結果を踏まえ、一株当たりの配当予想を以下の通り修正し、株主への利益還元を強化する。

→ 期末配当予想を修正 (31円 → 40円)。

(億円)

	受注高	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益	年間配当金		
							第2四半期末	期末	合計
前回修正予想 (10月29日付)	1,200	1,250	82	82	56	216.02円	31円	31円	62円
今回修正予想	1,200	1,250	82	82	56	257.79円	31円 (実施済み) 前期比: ±0	40円 前期比+9	71円 前期比+9
前期実績	1,238	1,173	76	76	52	199.46円	31円	31円	62円



目次

I 2020年3月期第3四半期決算ハイライト

II 自己株式の公開買付け結果
および2020年3月期配当予想の修正

III 2020年3月期第3四半期決算概要

Ⅲ 2020年3月期第3四半期決算概要

- 1 連結損益計算書
- 2 セグメント情報
- 3 連結貸借対照表
- 4 連結キャッシュ・フローの状況

連結損益計算書

(億円)

	'19/3期 3Q累計実績	'20/3期 3Q累計実績	増減
売上高	501	565	+64
営業利益	-39	-35	+4
(営業利益率)	-7.8%	-6.1%	+1.7%
経常利益	-37	-35	+2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-26	-26	+1

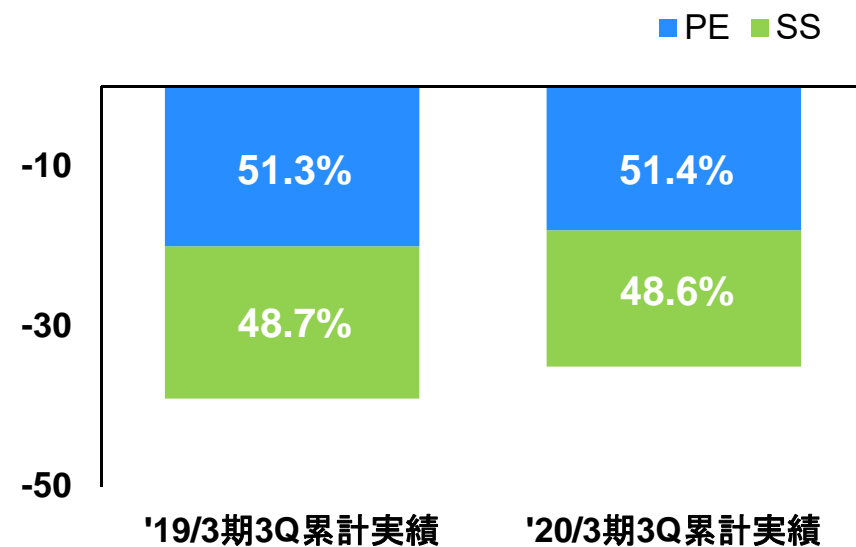
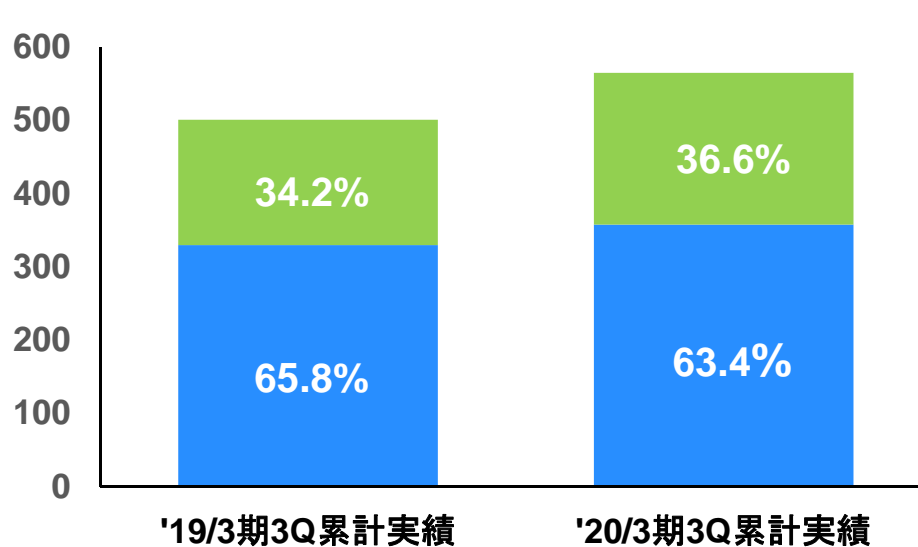
* 1億円未満を四捨五入(以降の実績値も同様)

セグメント情報

(億円)

	売上高		
	'19/3期 3Q累計実績	'20/3期 3Q累計実績	増減
PE	330	358	+28
SS	171	207	+36
合計	501	565	+64

	営業利益		
	'19/3期 3Q累計実績	'20/3期 3Q累計実績	増減
PE	-20	-18	+2
SS	-19	-17	+2
合計	-39	-35	+4



連結貸借対照表

(億円)

	'19/3期 期末実績	'20/3期 3Q末実績	増減
現金・預金	286	151	▲135
売上債権	763	392	▲370
棚卸資産	86	252	+166
その他	21	57	+36
流動資産計	1,155	852	▲303
有形固定資産	32	32	▲0
無形固定資産	61	59	▲2
繰延税金資産	33	31	▲1
その他	46	49	+4
固定資産計	171	171	▲0
総資産計	1,326	1,023	▲303

	'19/3期 期末実績	'20/3期 3Q末実績	増減
買入債務	303	201	▲103
短期借入金	*1 (8)12	(9)11	▲1
前受金	161	185	+24
その他	87	57	▲31
流動負債計	563	454	▲109
長期借入金	*2 (107)126	(99)116	▲10
その他	47	47	0
固定負債計	173	163	▲10
負債計	736	617	▲119
純資産計	590	*3 406	▲184
負債・純資産合計	1,326	1,023	▲303

*1 *2 : カッコ内の数値はPFI等プロジェクトファイナンス・ローンの金額

*3 : 自己株式取得による▲143億円を含む

連結キャッシュ・フローの状況

(億円)

	'19/3期 3Q累計実績	'20/3期 3Q累計実績	増 減
現金・現金同等物の前期残高	250	278	+28
営業キャッシュ・フロー	34	45	+11
投資キャッシュ・フロー	-6	-10	▲4
フリー・キャッシュ・フロー	27	35	+7
財務キャッシュ・フロー	-25	-169	▲144
現金・現金同等物に係る 換算差額	0	0	+0
現金・現金同等物の期末残高	252	143	▲109

ディスクロージャーポリシー

1. 基本方針

当社グループは、企業理念に基づき、社会とともに持続的な発展を遂げるため、すべてのステークホルダーの皆様の期待にお応えし、社会から信頼され、社会に貢献し続ける企業グループを目指します。この考え方にのっとり、当社グループは、ステークホルダーの皆様や社会に対して当社グループに係る企業情報を公正・公平かつ適時・適切に開示するとともに、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションを図ることにより、当社グループに対する理解促進を図り、透明性・信頼性の高い経営に努めます。

2. 情報開示の基準

会社法、金融商品取引法などの諸法令および金融商品取引所の定める規則などにより開示が求められる企業情報について、それぞれの法令や規則などにのっとり、情報開示を行います。また、法令や規則などに該当しない企業情報であっても、ステークホルダーの皆様にも有用であると判断される情報や社会的に開示が必要と判断される情報について、可能な限り積極的に情報開示を行います。

3. 情報開示の方法

上記の法令や規則などにより開示が求められる企業情報については、それぞれの法令や規則などで定められた方法により情報開示を行うとともに、当社ホームページに掲載します。上記の法令や規則などに該当しない企業情報については、その重要性や緊急性を考慮し、報道機関や当社ホームページなどを通じて情報開示を行います。

4. 情報開示後のコミュニケーション

開示した情報に関して、会見、説明会、取材、問い合わせへの回答などを通じ、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションを図ります。また、コミュニケーションを通じてステークホルダーの皆様からいただいたご意見などは、当社グループ内で共有し、今後の参考とさせていただきます。

5. 沈黙期間

決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算（四半期決算を含む）期末日の翌日から決算発表までを沈黙期間とします。沈黙期間中は、業績予想の修正に関する情報開示を行った場合を除き、決算・業績見通しに関する会見、説明会、取材、問い合わせへの回答など差し控えます。

6. 将来の見通しについて

当社グループが開示する業績予想、戦略、目標などのうち将来の見通しに関する記述は、当社グループがその時点で入手している情報および合理的であると判断される一定の前提を根拠としており、実際の業績などは様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

7. 社内体制の整備

ディスクロージャーポリシーを遵守し、適切な情報開示およびステークホルダーの皆様とのコミュニケーションが図れるよう、社内体制を構築するとともに社内規程を整備します。



【本資料に関するお問い合わせ先】

メタウォーター株式会社 経営企画本部 CSR推進室 広報IR部

Tel:03-6853-7317 Fax:03-6853-8709 E-mail:pr@metawater.co.jp

補足資料 案件リスト

工事受注(10億円規模以上)

	案件名	都道府県	セグメント
1Q	汐留第二ポンプ所電気設備再構築工事	東京都	PE
2Q	三鷹市東部水再生センター監視制御設備等更新工事(第三期)	東京都	PE
	単槽型硝化脱窒プロセスのICT・AI制御による高度処理技術実証研究	東京都	PE
	北多摩二号水再生センター汚泥焼却設備再構築工事	東京都	PE
	東尾久浄化センター尾久系ポンプ室沈砂池機械設備工事	東京都	PE
	諏訪南リサイクルセンター建設工事	長野県	SS
3Q	東尾久浄化センター尾久系ポンプ室電気設備工事	東京都	PE
	東尾久浄化センター発電設備工事その4	東京都	PE
	(仮称)松戸市リサイクルプラザ整備事業	千葉県	SS

運転・維持管理 新規受託/業務開始

	案件名	都道府県	セグメント
1Q	東白川村簡易水道施設運転管理委託業務 [新規受託・業務開始]	岐阜県	SS
	福知山市上水道事業等包括的民間委託業務 [業務開始(既受託分)]	京都府	SS
3Q	田原リサイクルセンター長期包括運転維持管理業務 [新規受託]	愛知県	SS
	伏見 水処理施設運転管理委託 [新規受託]	京都府	SS
	伊勢原浄水場運転維持管理業務 [新規受託]	神奈川県	SS

受注(海外)

	案件名	国	セグメント
2Q	スロバキアの浄水場向けセラミック膜エレメント	スロバキア共和国	PE